

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年2月25日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年2月25日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【共用プール冷却浄化系ポンプ(B)の自動停止について】 共用プール冷却浄化系(B)系統の流量計を交換し通電したところ、ポンプが自動停止。 その後、ポンプを再起動。 なお、冷却浄化系(A)系統は運転中であり、共用プールの冷却に影響なし。	GⅢ	2月20日
2	【5・6号機淡水化装置における警報の発生について】 淡水化装置において、「濃縮水安全弁一次側圧力高」の警報が発生し、設備が自動停止。 現場調査および点検を実施し再起動。	GⅢ	2月20日
3	【構内配電線6号線停止作業時の停止範囲拡大について】 構内配電線6号線の一部停止作業を実施した際、計画外の電源が停止。 一部の電源が約1時間使用不能。 なお、電源停止に伴う影響なし。	GⅢ	2月21日